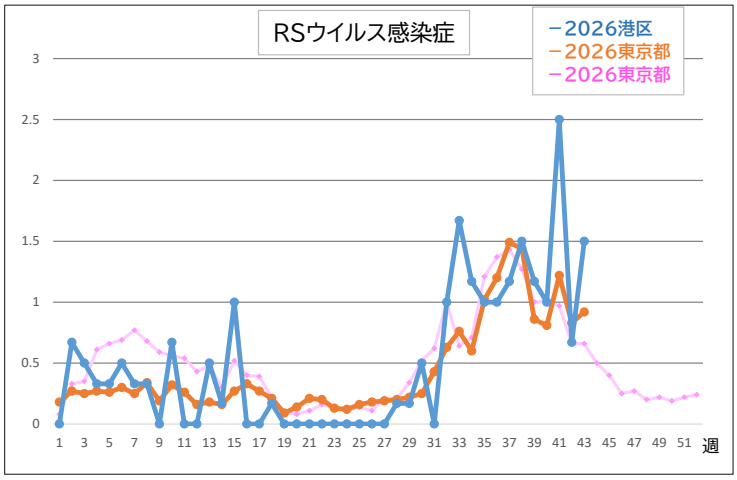
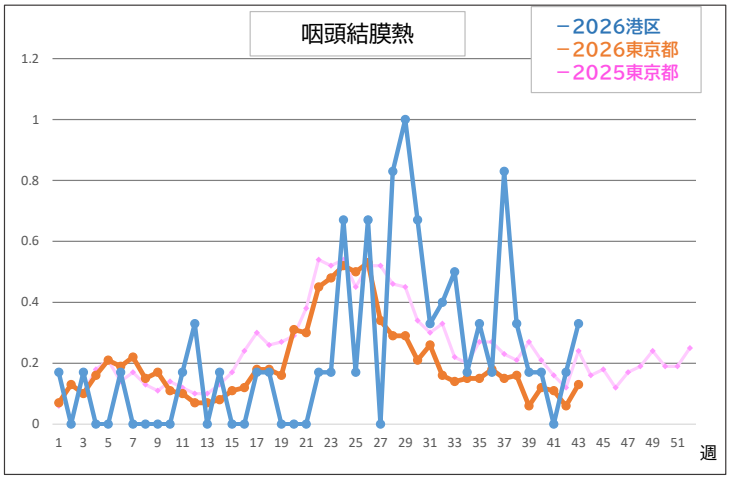
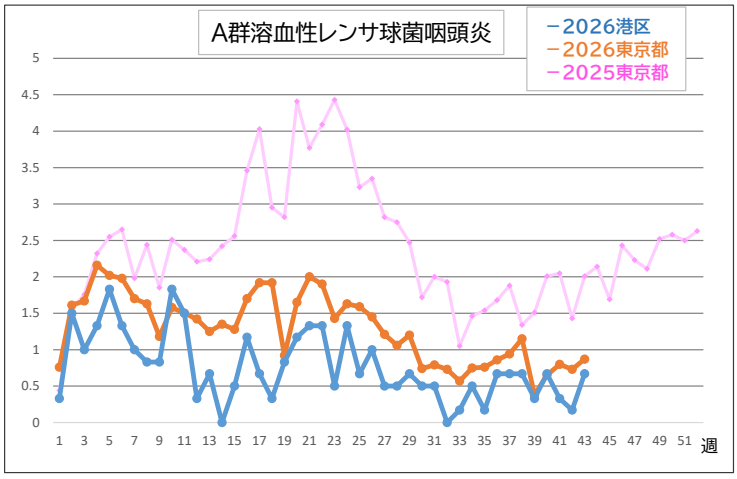
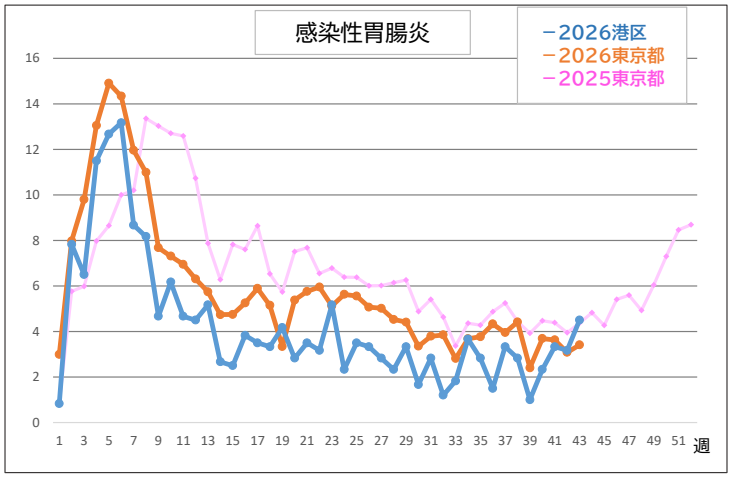
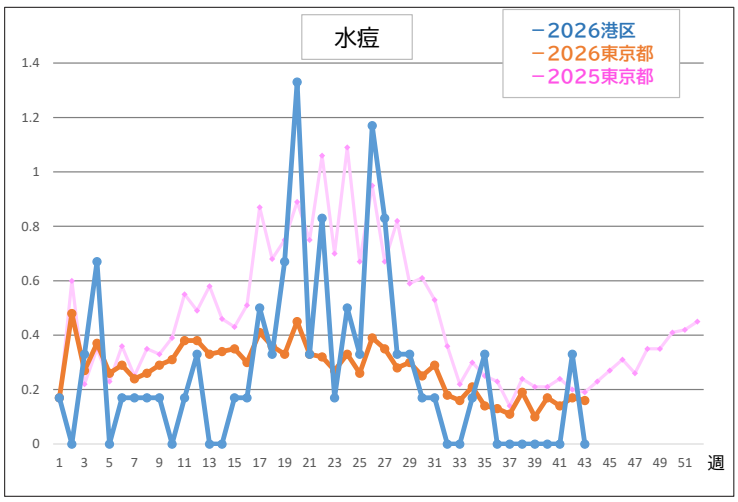
定点把握対象疾患　定点医療機関当たり報告数

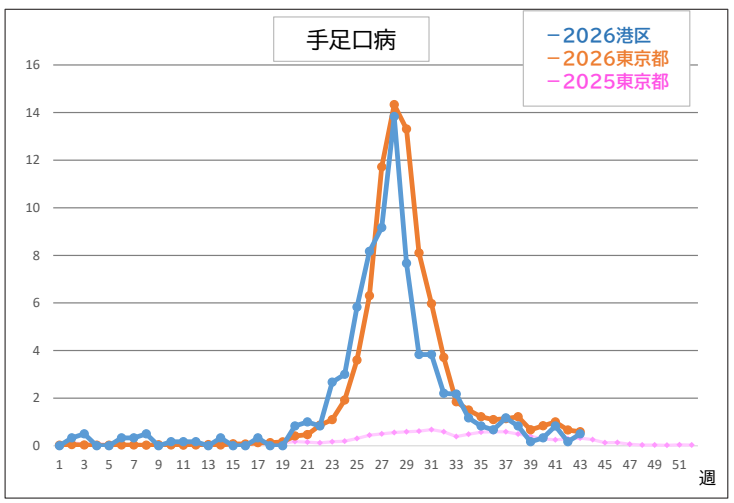


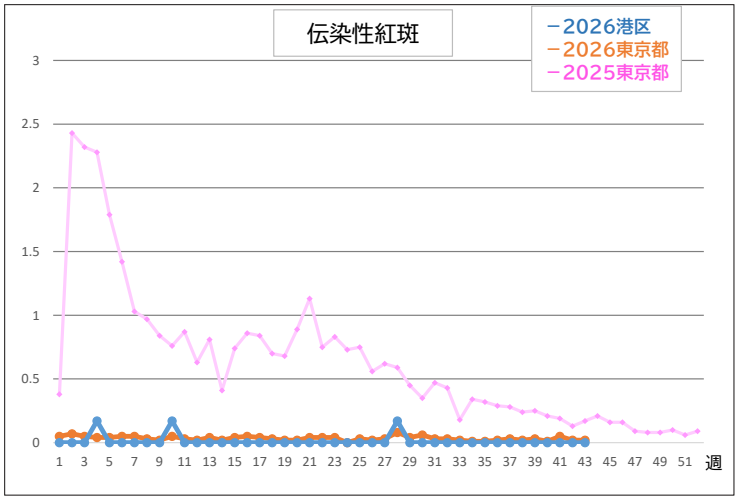


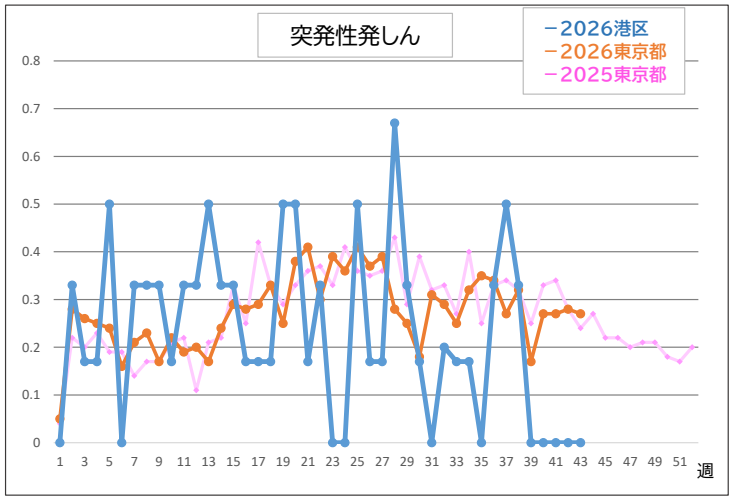


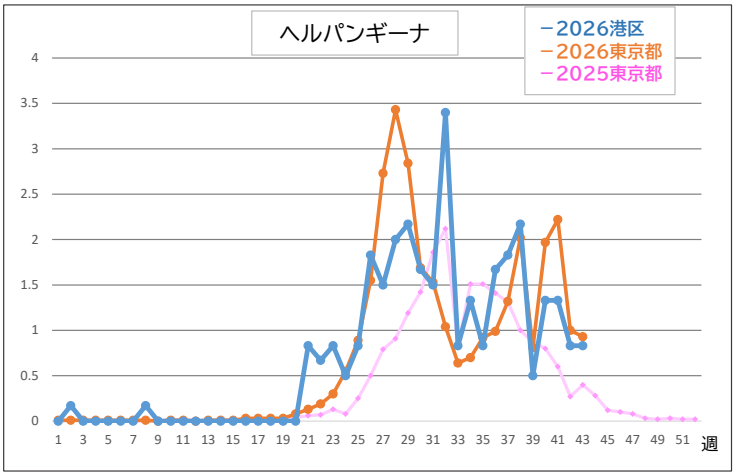


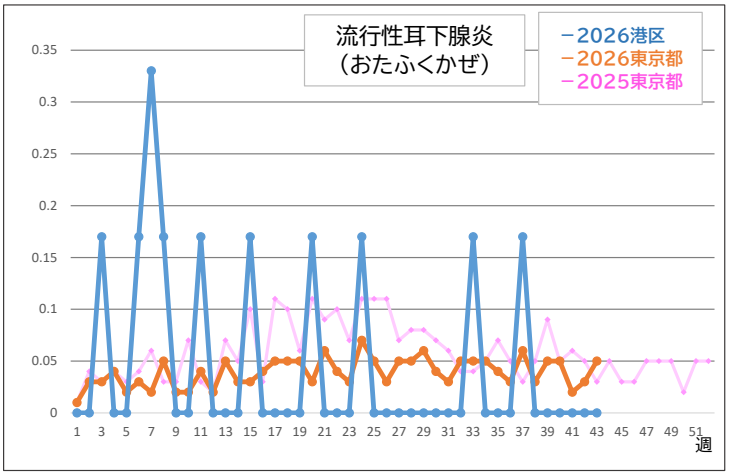


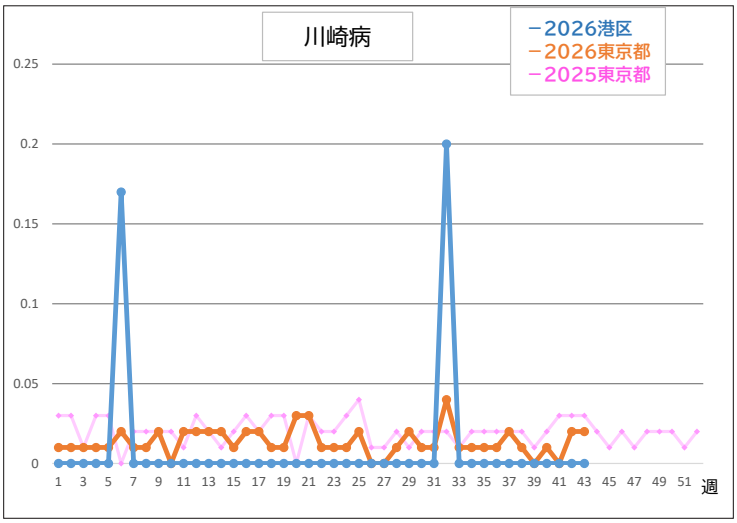


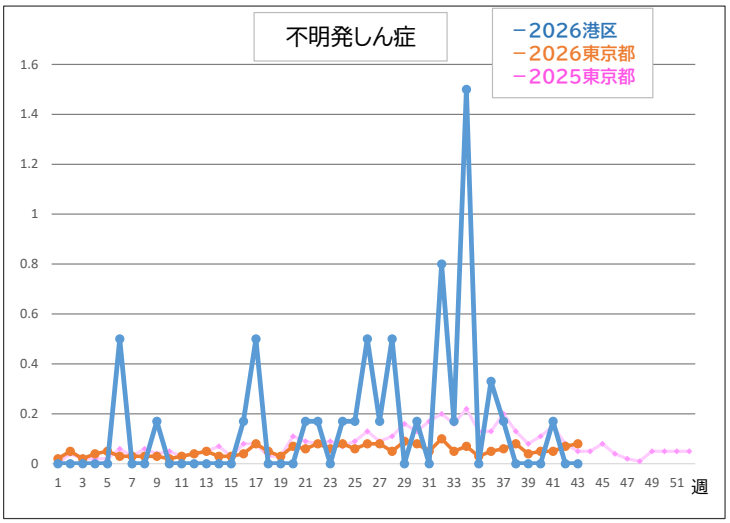


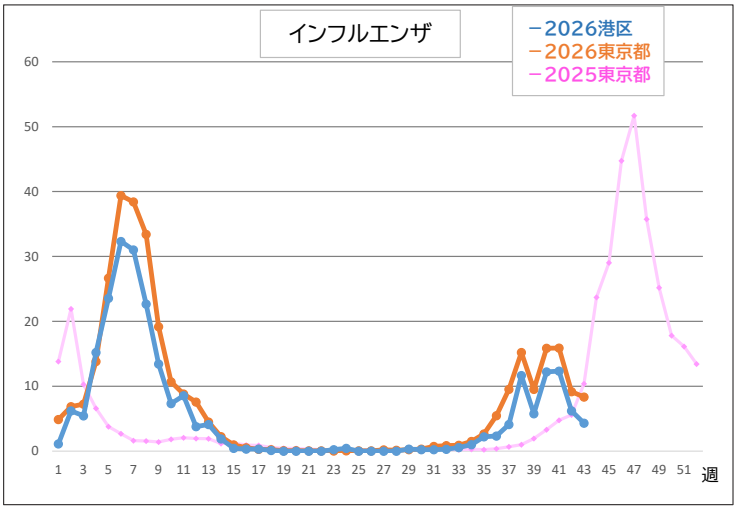


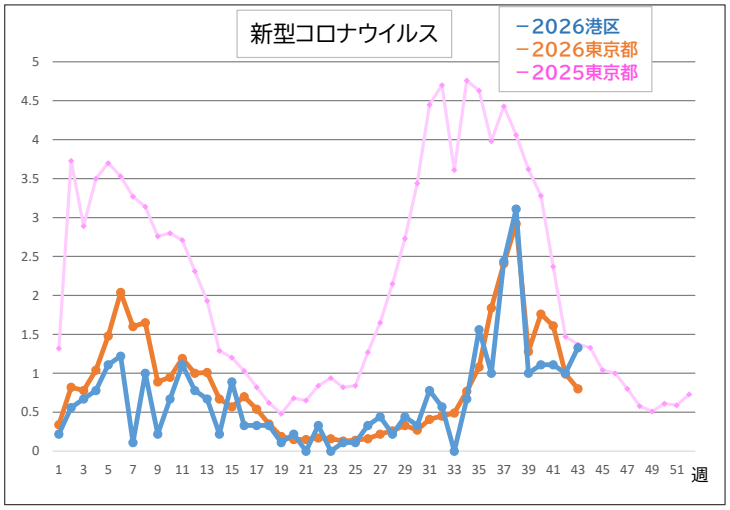

ヘルパンギーナ
−2026港区
−2026東京都
−2025東京都
週

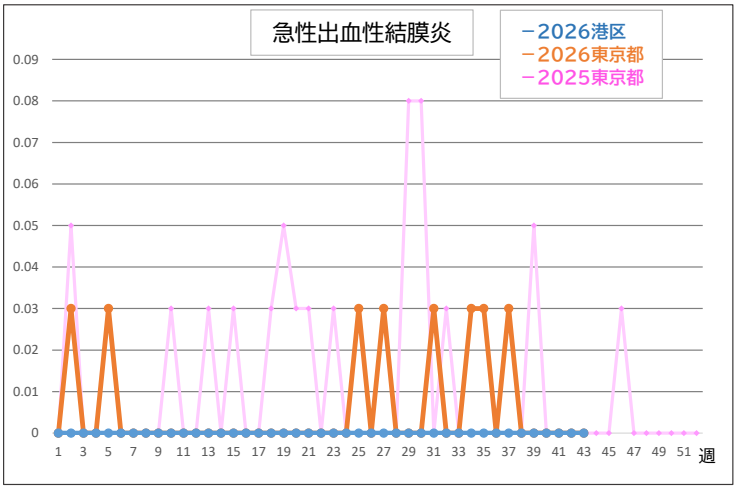

流行性耳下腺炎
（おたふくかぜ）
−2026港区
−2026東京都
−2025東京都
週

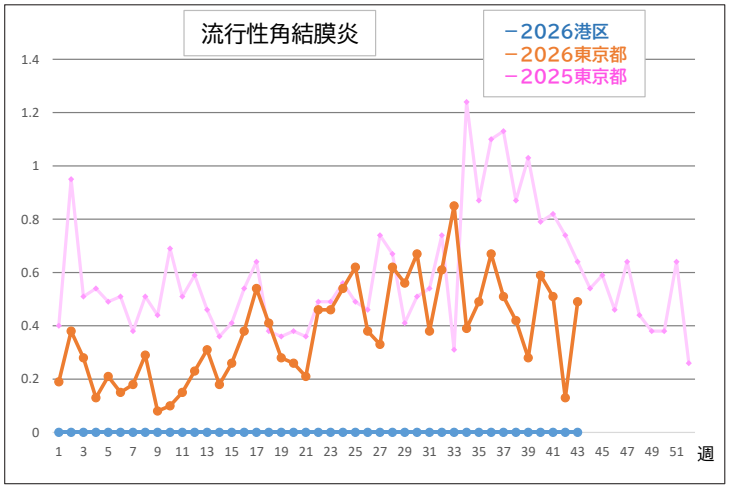

川崎病
−2026港区
−2026東京都
−2025東京都
週


不明発しん症
−2026港区
−2026東京都
−2025東京都
週

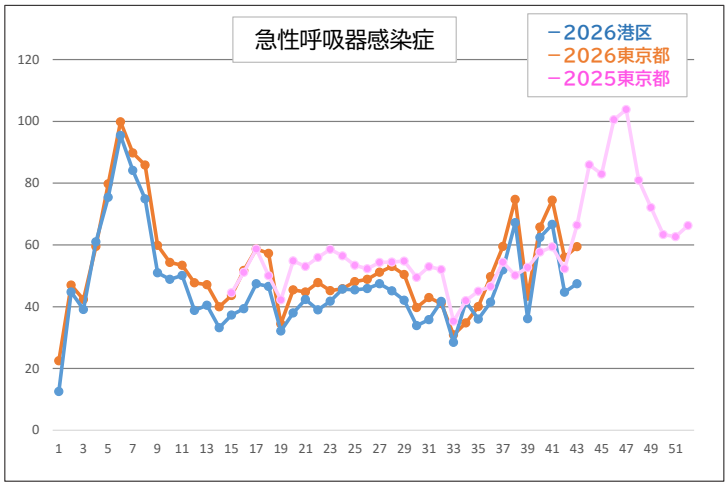

インフルエンザ
−2026港区
−2026東京都
−2025東京都
週


新型コロナウイルス
−2026港区
−2026東京都
−2025東京都
週


急性出血性結膜炎
−2026港区
−2026東京都
−2025東京都
週


流行性角結膜炎
−2026港区
−2026東京都
−2025東京都
週

急性呼吸器感染症／ARI　定点医療機関当たり報告数



急性呼吸器感染症（ARI）とは、一つの病名ではなく急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎）や下気道炎（気管支炎、細気管支炎、肺炎）を示す症候群の総称です。上気道炎症状や下気道炎症状を示す疾患（インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなど）が含まれます

※協力医療機関数は、小児科疾患6、インフルエンザ･新型コロナウイルス感染症9、眼科疾患0、急性呼吸器感染症9です。

定点把握対象疾患　報告数

週数	第39週	第40週	第41週	第42週	第43週	2026年累計
期間	2026年9月21日 - 2026年9月27日	2026年9月28日 - 2026年10月4日	2026年10月5日 - 2026年10月11日	2026年10月12日 - 2026年10月18日	2026年10月19日 - 2026年10月25日	
RSウイルス感染症	7	6	15	4	9	129
咽頭結膜熱	1	1	0	1	2	58
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	4	2	1	2	195
感染性胃腸炎	6	14	20	19	4	1073
水痘	0	0	0	2	27	96
手足口病	1	2	5	1	0	444
伝染性紅斑	0	0	0	0	3	6
突発性発しん	0	0	0	0	0	59
ヘルパンギーナ	3	8	8	5	0	181
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0	0	0	0	5	16
川崎病	0	0	0	0	0	2
不明発しん症	0	0	1	0	0	38
インフルエンザ	52	110	111	56	39	2181
新型コロナウイルス感染症／COVID-19	9	10	10	9	39	292
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0
急性呼吸器感染症／ARI	325	562	600	402	427	18102

～東京都全体で注目される定点把握対象疾患～

・インフルエンザの定点当たり報告数は8.35と先週より減少し、31保健所中1保健所が警報レベル、5保健所が注意報レベルであり、これらの保健所管内人口の合計は東京都全体の 30%以下となり、都の注意報基準を下回りました。
・マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、1.52と増加傾向です

～港区で注目される定点把握対象疾患～

・インフルエンザの定点当たり報告数は4.33で先週より減少しています。東京都全体としても注意報基準を下回っています。
・手洗いと咳エチケット等、基本的な感染対策を心がけましょう。